

かがやく未来の子どもたちへ はちかづき太鼓講習会

寝屋川に伝わる“はちかづき姫”民話を基に
創られた『はちかづき和太鼓』を
叩いてみませんか？

募集要項

11月28日(土)
12月 6日(日)

寝屋川市立中央公民館 2F 講堂 14:00～

参加者
募集!

- 対象 小・中学生。はちかづき太鼓を楽しくたたいてみたい人。
- 募集人数 40人(先着締切)
- 参加費用 小・中学生 無料
高校生以上 500円
- 持ち物 運動しやすい服、体育館シューズ、タオル
飲み物(ばちは準備します)

講習会終了後、希望者は以下の舞台出演が可能です

公演名 かがやく子どもたちのためのはちかづきコンサート
開催日 2016年3月26日(土)
場 所 寝屋川アルカスホール メインホール

申し込み方法

裏面申し込み用紙に必要事項記入のうえ、以下にFAX
または、直接TELにて申し込みが可能です。

TEL:090-8752-0336(内田)

FAX:072-829-4461

メール:npo.gamu @nifty.com

HP: <http://homepage2.nifty.com/npo-gamu/>

寝屋川市にぎわい創出公募補助金交付事業

- ◆主 催◆ NPO法人 雅夢(がむ)
- ◆後 援 予 定◆ 寝屋川市、寝屋川市教育委員会
寝屋川市立校園PTA協議会



はちかづき太鼓講習会

住所 〒

氏名

学校名 小・中学校 、 年齢(学年)

TEL/FAX

メールアドレス (あれば)

参加希望日 11月28日のみ参加 、 12月6日のみ参加 、 両日参加

はちかづき姫の物語めぐり

その昔、河内国の寝屋に藤原実高という大長者が住んでいました。たいそう裕福で、人々から「寝屋長者」と呼ばれていました。ただ一つの悩みは、子宝に恵まれないことでした。それで毎月、大和国初瀬寺(長谷寺)の観音さまに、子宝を祈りに月参りをしていました。するとお告げがあって、女の子が授かりました。姫は、観音さまにあやかって「初瀬」と名付けられました。初瀬姫はとても愛らしく、一家は幸せに暮らしていました。

しかし姫が十四歳の時、母親が病気で倒れました。母親は、観音さまのお告げどおりに姫の頭に鉢をかぶせて、息をひきとりました。悲しみのうちに一年が経ち、新しい母親がきました。この母親は、最初は良かったのですが、月日が経つにつれ、姫につらくあたり、とうとう姫を追い出してしまいました。

家を追い出された姫は、淀川に身を投げましたが、鉢が浮いて、沈むことさえできませんでした。そこへ「山陰中将」という公家が通りかかり、姫を助け、自分の屋敷に連れて帰りました。

中将には、四人の息子がいましたが、四人目の息子(宰相は、まだ独身でした。ある日、姫が宰相の湯殿番をしていた時、宰相は、姫に優しく声をかけ、身の上をいろいろたずね、姫も今までのことをすべて話しました。やがて、二人は愛しあうようになりました。

しかし、周囲の者は反対し「嫁くらべ」をして、姫を屋敷から追い出そうとします。姫は、みずから屋敷を出ようとしていますが、それをいさめるように、鉢が頭から落ちました。鉢のとれた姫の姿は、それは美しいものでした。しかも、鉢の中から、金銀財宝や、類い稀な宝物が出てきました。鉢はひらひらと蝶のように足元から舞い上がっていきました。

そして「嫁くらべ」にのぞんだ姫は、他のどの姫より、美しく、その気品あふれた心の美しい姫の前には、兄嫁達は、手も足も出さず、太刀打ちできませんでした。また、姫の奏でる琴も見事でした。こうして中将をはじめ周囲の者も、二人の仲をゆるし、その後、皆幸せに暮らしました。

寝屋川市立 中央公民館 アクセス

大阪府寝屋川市池田西町 28 番 22 号
 徒歩 京阪「寝屋川市」駅より約 15 分
 バス 京阪「寝屋川市」駅西口バスターミナルより「総合センター東口」下車すぐ



問い合わせ ・ お申し込み

TEL: 090-8752-0336 (内田)

FAX: 072-829-4461

メール: npo.gamu @nifty.com

HP: <http://homepage2.nifty.com/npogamu/>

皆様の参加
おまちしています

